

公衆衛生学 I		講義	教 授 世喜 利彦
科目カテゴリ	柔道整復師コースの専門基礎科目 教職科目	科目ナンバリング	12332201 12531203

1. 授業のねらい・概要

日本では少子高齢化が進み、世界全体では食糧や環境問題が深刻化している。これらが私たちの健康や生活に、大きな影響を与えていることは良く知られている。この事態に対処するには、社会を担う一人ひとりが取り組むことが必要であり、人と社会との接点を知ることが重要である。すなわち、第一に人を取り巻く衣食住環境、家庭環境、域環境、社会制度、地球環境などの知識を身につけることであり、第二に個人のみでなく集団の構造を把握し、健康水準を高めるための戦略、戦術を学び、日常生活に応用できるように役立つことである。本講座では、公衆衛生の基本的な知識、考え方、その役割、重要性を知り理解できることを目的とする。

2. 授業の進め方

基本的には、教科書を中心にして講義を進める。必要に応じて参考資料のプリントを配布する。

3. 授業計画

1. 健康の科学としての公衆衛生学	9. 環境の衛生
2. 人口の動向・世界の人口、日本の人口	10. 環境汚染と公害
3. 妊娠・出産、胎児期の保健	11. 感染症：微生物による病気
4. 新生児・乳幼児期の保健	12. 食物と健康
5. 青少年の保健	13. 職業生活と健康
6. 成人期の保健	14. 保健・医療行政
7. 老年期の保健と死の問題	15. まとめ
8. 心の健康と心身障害	

4. 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回の講義内容を復習、理解し、授業前に必ず一度は教科書の予定範囲を予習（1時間程度）として読んで、わからない点を把握しておくこと。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

当該授業科目のレポート課題及び、その作成についての説明を記載したものを、最終授業の数週間前に配布する。レポート提出日に、6名の学生に課題の報告をいただき、レポート回収直後に、レポートの課題について説明する。

6. 授業における学習の到達目標

1. 学生が、公衆衛生の概念、感染症、予防医学について知り、理解できる。
2. 学生が、日本及び世界の人口動向について知り、理解できる。
3. 学生が、人の一生の前半期である妊娠、出産と、胎児、新生児、乳幼児、青少年の各期の健康と母子保健、学校保健について知り、理解できる。
4. 学生が、人の健康の維持増進、疾病予防を实践するために関わる環境因子を把握し、環境衛生について知り、理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

レポート提出（100%）を判断基準にして評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書： 衛生学・公衆衛生学 【改訂 第6版】 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 監修，鈴木庄亮，小川正行ら著 南江堂 2021年，（柔道整復師コース 用）

9. 受講上の留意事項

授業前に必ず一度は予定範囲を読んでおくこと。また不明な点，理解できない点があれば遠慮しないで質問すること。

10. [実務経験のある教員等による授業科目]の該当の有無

該当する。本授業は，以下の実務経験を生かして実施する。研究機関における研究員としての勤務経験を活かして講義を行う。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。